

様式1(主な取組)

活動指標名	派遣人数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	20人	20人	20人	20人	0人	20人	0.0%	0	未着手	新型コロナウイルス感染症による事業中止。
活動指標名					R2年度					
実績値										
										新型コロナウイルス感染症による事業中止のため、生徒を派遣することができなかったため、「未着手」となった。
活動指標名					R2年度					
実績値										
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案								反映状況		
<ul style="list-style-type: none"> ・高文連、専門部、旅行社と密に連携を図るとともに、派遣国の文化・交流に精通する方々から意見を伺い、より良い研修に繋げると共に語学研修の内容を検討し、本研修の充実に努める。 ・これまでに派遣されたOBや引率教諭、ファシリテーターを十分に活用し、派遣生徒各自の目標設定をしっかりと、目的意識や達成感の高揚に努める。 ・交通状況や生徒の体調に配慮し、現地での交流が充実したゆとりある日程を検討する。 								<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症のため事業を中止した。 		



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因

・当事業を実施するにあたり、県高等学校文化連盟、専門部及び旅行社と密に連携を図り、相互理解を深め、情報の共有化と互いの役割分担を明確にする必要がある。

外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症等による感染拡大防止のため、航空便運航状況など渡航制限がありうる。

・現地交流校との受入日程調整が必要となる。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・新型コロナウイルス感染症を注視し、本研修の派遣時期を検討する。
- ・海外派遣が困難な場合、オンライン等の交流や文化研修などの代替研修を行う。

4 取組の改善案 (Action)

- ・高文連、専門部、旅行社と密に連携を図るとともに、派遣国の文化・交流に精通する方々から意見を伺い、より良い本研修、または代替研修に繋げる。
- ・これまでに派遣されたOBや引率教諭、ファシリテーターを十分に活用し、派遣生徒各自の目標設定をしっかりと、目的意識や達成感の高揚に努める。

様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因

・当事業を実施するにあたり、県高等学校文化連盟、専門部及び旅行社と密に連携を図り、相互理解を深め、情報の共有化と互いの役割分担を明確にする必要がある。

外部環境の変化

・新型コロナウイルス感染症等による感染拡大防止のため、航空便運航状況など渡航制限がありうる。

・現地交流校との受入日程調整が必要となる。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・新型コロナウイルス感染症状況を注視し、本研修の派遣時期を検討する。
- ・海外派遣が困難な場合、オンデマンド等の交流や県内での文化研修などの代替研修を行う。

4 取組の改善案 (Action)

- ・高文連、専門部、旅行社と密に連携を図るとともに、派遣国の文化・交流に精通する方々から意見を伺い、より良い本研修、または代替研修に繋げる。
- ・これまでに派遣されたOBや引率教諭、ファシリテーターを十分に活用し、派遣生徒各自の目標設定をしっかりと、目的意識や達成感の高揚に努める。

様式1(主な取組)

活動指標名	県内指定文化財紹介書籍の刊行				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
	-	1冊	1冊	1冊	1冊	1冊	100.0%	9,003	順調	<p>『無形文化財・民俗文化財編』の刊行に際して、本事業では新たに指定になった文化財を加えて、県民が文化財に親しみを持つような、デザイン性を重視した編集を行う。さらに、本事業で収集した文化財情報および写真を基礎データとして今後の沖縄の歴史、文化財の普及、啓発活動に活用していく。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>本事業において、刊行業務がメインとなるため、『無形文化財・民俗文化財編』の発刊を計画どおりできたことが判断根拠となる。編集会議を隔週で行い、各分野の進捗状況等を確認することによって、事務局、各分野とのやり取りをスムーズに行うことが出来た。</p>
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育が終了した中学生3年生が理解できる内容にまとめ、文化財普及書の分かりづらさを改善する。 ・文化財を理解するための平面図や図解を作成し、掲載する。 ・写真撮影は、事前調査や撮影工程、文化財の取り扱い等を綿密な計画を立てて効率化を図る。 						<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の最新の状況を写真で掲載するなど、見て楽しめるレイアウト、デザインとする検討を行った。 ・中学3年生が基礎的な学力でも理解できる内容や構成を検討した。 ・読者の興味関心を高めるために、文化財ごとにマンガを含む多彩なコラムを掲載した。本文内にキャラクターを作成し、学習の補助となるコメントを加えた。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因	外部環境の変化
<ul style="list-style-type: none">・推定された文化財の中には、数百点の資料を有する文化財もあり、各文化財ごとに状況が異なるため、写真撮影や説明文の内容など、工夫の必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・文化財の保護は市町村単位で行っている。・無形文化財・民俗文化財は伝承は保存会が主体的に行っている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none">・これまでも文化財の普及書は刊行されているが、説明が専門的であることから内容が分かりづらい。・写真撮影については、事前調査を綿密に行い、効率化を図る必要がある。・市町村教育委員会および文化財を収蔵する博物館の協力を得る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

<ul style="list-style-type: none">・義務教育が終了した中学生3年生が理解できる内容にまとめ、文化財普及書の分かりづらさを改善する。・文化財を理解するための平面図や図解を作成し、掲載する。・写真撮影は、事前調査や撮影工程、文化財の取り扱い等を綿密な計画を立てて効率化を図る。
